



神奈川東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590 / CHARTERED MAY 29, 1976 / WEEKLY BULLETIN

2006-2007年度RI会長
ウィリアムB. ボイド



率先しよう
LEAD THE WAY

2006～07年度 第2590地区ガバナー 齊藤 二郎

会長	小池 将夫	副会長	大西 弘文
副会長	清水 勇一	会長エレクト	吉田 隆男
幹事	渡邊 淳	クラブ会報	植田 清司
S A A	鈴木 武	会計	舘野 典久

- 事務局 / ホテルキャメロットジャパン内
〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL:045(314)3900 FAX:045(314)3555
- 例会日 / 毎週金曜日 0:30～1:30PM
- 例会場 / ホテルキャメロットジャパン
- 創立記念日 / 昭和51年5月29日
- URL / <http://www.kanagawahigashi.com/>
- E-mail / kerc@beach.ocn.ne.jp

【クラブテーマ】
明日の為に・一つの心で



2006-07年度 第28号週報NO.1494
2007年(平成19年)2月16日第1494回例会記録2月23日発行

司会 加藤 仁昭 副幹事

点鐘 小池 将夫 会長

斉唱 我等の生業

ゲスト紹介

鈴木 一男 様 (ゲストスピーカー・OWOP協会)

結婚記念日祝

江森 国一 会員 (2月17日)

誕生日祝

脇田いすゞ 会員 (2月21日)

梅崎 興生 会員 (2月22日)

伊澤 政宏 会員 (2月22日)



会長報告

2月10日のIMにつきましては、会員の皆様の力をお借り致しましてとても盛大にできました。参加された皆様にも大変喜ばれまして成功に終わることが出来ました。

幹事報告

本日、例会終了後、定例理事会を開催致します。

「神奈川県ロータリアン親睦テニス会(上野杯)」の案内が来ておりますので回覧します。参加希望される方は申込書に必要事項を記入願います。

「インターアクト卒業パーティー」の案内が来ております。参加希望される方は名前を明記願います。

2007 - 2008 年度版ロータリー手帳の申し込み案内が来ておりますので回覧致します。購入を希望される方は申込書に名前を明記願います。

4/8(日)に地区協議会が開催されます。出席義務者の方には詳細を別途連絡致します。

本日《2月23日》のプログラム

- ◆斉唱 「それでこそロータリー」
- ◆献立 中華弁当
- ◆卓話 「フィンランドでの留学生活」

石井 香織 様

例会変更のお知らせ

横浜あざみロータリークラブ

平成19年2月21日(水) 2月20日(火) 夜間移動例会
5クラブ合同例会

場所 新横浜国際ホテル 2F チャーチル
点鐘 18:30~

横浜東ロータリークラブ

平成19年2月23日(金) 夜間移動例会
創立52周年記念例会

場所 ホテルサンポート
点鐘 18:00

横浜北ロータリークラブ

平成19年2月27日(火) 夜間移動例会
百人一首大会

場所 新横浜グレイスホテル
点鐘 18:30

神奈川西ロータリークラブ

平成19年2月22日(木) 夜間移動例会

場所 翠香園
点鐘 18:00

委員会報告

IM実行委員会 委員長 青柳 紀

先日のIMには皆様のお力添えをいただきまして無事終了致しました。ありがとうございました。

以下のようにアンケート調査が集計できました。

IM アンケート集計結果

IM 広報委員会

ロータリーをご存知でしたか

{はい 87.5%
いいえ 11%}

ロータリーの活動をご存知でしたか

{はい 66%
いいえ 31%}

今回の記念講演は満足でしたか

{はい 96%
いいえ 1%}

次回も参加されますか

{はい 75%
いいえ 5%}

どのようなイベントを望まれますか?

- 1. 記念講演 43人 2. スポーツ観戦 14人
3. 観劇 23人 4. コンサート 29人

《自由意見》

鎌田先生の講演が大変素晴らしく感動した 22件
(例:素晴らしい企画満足しました。私もガンをかかえています。頑張り過ぎず頑張ります。もう少し生きたいです。

家族の為にも、そして同病の為にも。)

米山留学生のスピーチは全て感謝に満ちていて素晴らしい 9件

(例:留学生4氏のお話大変感動しました。世界の中の日本人を改めて強く受け止め考える機会を与您にいただきました。)

ロータリーの活動を理解できた。又、一般へのアピールをして欲しい 3件

会場がもう少し暖かい方が良かった

マスコミで語られていない正論の講演を聞きたい

(回収アンケート 男20 女60 計80)

国際奉仕委員会 委員長 今泉 文博

本日皆様のボックスに台北滬尾R.C公式訪問のご案内を入れておきましたが、3月23日より、2泊3日又は3泊4日の2行程と致しました。お忙しいこととは思いますが、多くの方のご参加をお願い致します。

出席報告

古川 陽太郎 副委員長

会員総数	63名	(46名+17)名	
出席会員数	46名	(38名+8)名	
出席率	82.61%		
ゲスト	1名	ビジター	0名
前回補正後	97.83%	前回々補正後	97.83%

スマイルボックス

山田 正憲 SAA

梅崎興生君 誕生日を頂きありがとう。これで、年金を完全にもらえる年65才になりました。

脇田いすゞ君 ◦何がなんだか分からないうちにIMが終りました。皆様御苦勞様でした。

◦もうすぐ60才になってしまいます。誕生日ありがとうございます。

江森国一君 結婚祝いありがとうございます。

IMの成功を祝して、皆様御苦勞様でした。

小池将夫君 ◦皆様の御協力で無事、IMが終了しました。大変お疲れ様でした。

◦ワンワールド・ワンピープル協会 鈴木会長さん、スリランカからお帰りなさい。本日の卓話よろしくお願ひ致します。

鈴木 武君(代理 渡邊 淳) 先に開催されたマージャン大会の残余金をニコニコに寄附します。よろしくお願ひします。

青柳 紀君 IMが終わりました。皆様ありがとうございます。

石川正三君 今日の卓話は、皆様ご存知のOWOP(ワンワールド・ワンピープル)協会の鈴木一男会長です。

昨年秋の募金活動の資金で完成したスリランカの井戸の近況です。ご静聴の程を...

矢野修二君 先日のIM、皆様ご苦勞さまでした。本日、職業

奉仕の為、早退致します。

富居利貞君 IMのご参加の皆様御苦労さんでした。

川邊正男君 先日のIMお疲れ様でした。成功に終り良かったですね。

横山範夫君 先日のIM参加の皆様御苦労様でした。

古川陽太郎君 先日のIMでは青柳実行委員長を始め河野さん、江森さん、月山さん、会員の皆さんには大変御苦労様でした。

月山 勇君 近年にない我がクラブの一大イベントIMでは、会員全員参加にて、お疲れ様でした。我がクラブの底力が魅せられた会でした。

天野公史君 皆さんIM大変御苦労様でした。そのエネルギーとパワーを会員拡大へ向けをお願い致します。

純増2名が目標です。よろしくお願い致します。

飯田 昇君 IMの成功を祝して

須永久一君 先日のIM開催に際し皆様方のご協力をいただき無事、責任を果す事が出来ました。ありがとうございました。

又本日は都合で早退させていただきます。

永井隆俊君 先日IM会員皆様のご協力で大成功でした。

ありがとうございました。

山田富雄君 IM幹部の皆様、IMの大成功、心よりお喜び申し上げます。

森永 健君 皆さんIMお疲れ様でした。

今回は、次回こそはと思っております。

西山 潔君 IMお疲れ様でした。

山田正憲君 先日のIMでは皆様お疲れ様でした。

私のIMの仕事はこれからです。

2月16日	21件	59,000円
本年度累計額		1,456,500円

理事会報告

2月度定例理事会議事録

- 【日時】 平成19年2月16日(金) 例会終了後
【会場】 ホテルキャメロットジャパン 3階 ナイト
【出席者】 理事 富居利貞・西山 潔・盧 康大
今泉文博・川邊正男
役員 小池将夫・吉田隆男・大西弘文
渡邊 淳・加藤仁昭
オブザーバー 青柳 紀

【議題】

臨時理事会の結果報告

承認

IMの件

一般会計よりIM会計へ予算額を振り替えたい旨の説明がなされた。

承認

入会申請者の件(第2回)

赤堀和人氏の入会が承認された。

承認

会員退会届提出の件

鈴木武会員の退会届が承認された。

承認

台湾滬尾ロータリークラブ公式訪問の件

1. 公式訪問に係る募集状況の中間報告がなされた。
2. 締結文書について、内容を修正の上滬尾R.Cとすりあわせ、同時に全会員に書面を公開することとした。
3. 桜植樹の件については、当初予算30万円の範囲内で適宜調整することとした。

承認

米山奨学生受入れの件

地区推薦の許 凡 さんを受け入れることとし、カウンセラーは盧会員に依頼し、その場で承諾を得た

承認

R財団学友会賛助金送金の件

承認

次年度地区大会の件

依頼のあった次世代委員会委員長、及び委員の選任については、吉田会長エレクトが選任することとする。

承認

家族会決算報告

上記決算の最終報告がなされた。

承認

卓話

「スリランカ報告」クラブ25~26号井戸引渡式など...

OWOP協会会長 鈴木 一男 様

紹介者 石川 正三 会員



プロフィール

生年月日 77歳(喜寿です)
最終学歴 上智大学
職歴 ワンワールド・ワンピープル協会
OWOP協会会長
私どもクラブとスリランカの橋渡し役
現住所 東京都中央区佃

先日2月10日は鎌田先生の心にしみる、すばらしい講演会にお招きいただきありがとうございました。大学生も含め、私どもの仲間10人も参加させていただきました。

実は鎌田先生は私どもワンワールド・ワンピープル協会の副会長をしている、諏訪在住、笠原の父親の主治医でありまして、地域に根ざした医療を長年推進している尊敬すべき医師とかねがね聞いておりました。また週刊朝日は大学生の頃から50年以上も欠かさず購読しておりますので、先生のコラム、“がんばらないけどあきらめない”は全部読んでおります。しかしナマの先生の声で、人間や夫婦の素晴らしさに触れ、改めて深く感激しました。私のような年のいった者のみでなく、一緒に参加した若い学生達も普段中々接する事の出来ない人間ドラマの話に夢中に聞き入ったと話をしてくれました。あの広いホールが満員、ロータリーの皆さんのエネルギーと動員力にも感嘆しました。鎌田先生は最高の人選、選んだ実行委員の皆さんにも敬意を表します。

さて本日は12月初めから2ヶ月ほどスリランカへ出かけ、完成式を行って来た、皆さんご支援の、25と26番目の井戸の報告を致します。

(25番目の井戸)

25番目の井戸は、少し北寄りですが島の中心部で世界遺産にも登録してある、古都遺跡のあるポロンナルワ県“ヤーヤ08”という村に出来ました。12月31日の午後訪れ、完成式を行いました。ちなみにスリランカの正月は4月ですので、大晦日も普通に生活が営まれております。田んぼが一面に広がる、典型的な稲作農家の多い村です。普段この井戸を日常使うのは9所帯、40名ほどですが、乾季になると水位が下がる近辺の沼などを利用している数倍の人達もやって来るとの事です。飲料水のほか農業用にも役立つと村のサルボダヤ会の会長が挨拶の中で感謝しておりました。

この後、距離はたいして無いのですが、がたがたの農道を1時間以上走って、記念すべき第1号の井戸を訪れました。皆さんと長いお付き合いの始まった忘れがたい記念碑的な場所です。8年ほど前始めて、この席に呼んでらい話をさせていただき、井戸建設を呼びかけた際、皆さんが快くその場で資金を集めてくれて建設した井戸なのです。平成11年10月にオープンしました。私どもが支援した幼稚園に隣接しております。丁度雨季の終わりごろ、直ぐ脇に水を水量豊かな小川が流れています。しかしこれも後一月も経つと流れが止まってしまうとの事です。

あの頃井戸完成の喜びを共にした、かわいい女の子達の顔は今でもはっきりと脳裏に焼きついております。待っていてくれた幼稚園の先生に消息を聞いたのですが、もう7年もたっています。皆大きくなって村を出て行った子が多いとの事、夕刻で

もあり、あきらめて村を後にしました。

(26番目の井戸)



第26番目の井戸は帰国の予定を延ばして、年が変わった1月21日に行って来ました。島の南端、2年前の大津波で大きな被害を蒙った海岸沿いの地域です。あいにく12月と1月、2度に渡って集中豪雨に見舞われ、日本でも政府が支援を行うと報道されたそうですが、山間の地域にがけ崩れがあちこちに発生して道路が寸断され、また海岸沿いでは洪水騒ぎが起り水の引くのを待っておりました。

ハンバントッタ県のスーリヤウエツワという村です。この近辺は日本のODA資金で15年ほど前から“経済特区”が建設されて来ました。当時訪れた時は多くのダンプが走り回り、埃でフロントガラスが真っ黒、前が見えなくなり走るのが怖い体験をしました。道路沿いには畑や田んぼもぜんぜん見えません。家もまばらで、いったいあの開発はどうなったのかと疑うほどです。しかし決して広くはありませんが、スリランカの地方では随一といえる本格的に良く舗装された道路が一直線に続きます。後で分かったのですが、輸出専門の縫製工場が幾つか操業しているそうです。

朝6時半にサルボダヤ本部のあるモラトワ市を出て来たのですが、サルボダヤ・ハンバントッタ地区事務所で、津波で親を亡くし、私どもの奨学金を利用して学業を続けている子供達と

遅い昼食を共にし、将来の夢を語ってもらったり、支援の文房具などを渡してきたので、村に着いたのは大分遅くなってしまいました。深夜になってどうしても戻りたいので、完成式はごく簡単にしてもらいました。

井戸自体は想像以上に大きく、立派なものです。市街地から1時間ほど内陸に入った米と野菜づくりの平凡な農村といった風情の部落です。井戸の恩恵に浴せるのは、16所帯90人近くの老若男女に上るそうです。この辺は南部乾燥地帯に属し、降雨量が極端に少なく、海岸近くには塩田も多く見られる所です。

この村に来る時不思議に思ったのは、車内からあまり井戸が見えず、荒地が多い事です。簡素な完成式の際聞いてみたところ、びっくりした事に、この辺ではもう6年近く井戸を掘った事が無いと言うのです。掘っても塩分の多い水しか出ず、徒労に終わるからと言うのです。乾季になると村の給水車が巡回、水を配るのだが、全く不十分、水浴びどころか飲み水にも事欠く事が多いと嘆いていました。子供達が自転車で1時間もかけて水を汲みにいく事も良くあるのだとの説明です。今回サルボダヤの農村技術開発センターの勧めであちこちの水質調査を行い、やっとここを選び、神奈川東ロータリーの支援金を利用して掘ったものだと感謝しておりました。

この立派に見える井戸もほんの少しだけ塩分が混じっており、普段は農業用に使い飲料水は150メートルほど先に、奇跡的にある湧き水を使うのだそうです。もちろんそこが乾季で水が極端に細る時はこの新しい井戸の水を使うと言っています。出来ればただ掘っただけ、何も手を加えていない小さな“井戸”を支援してくれないかとの要望で、皆で歩いて見に行きました。丁度乾季が始まったばかり、未だきれいな水が確かに湧いています。ただ田んぼの脇に穴を掘っただけといった感じで、動物も来るだろうし、ごみや汚水、糞尿も流れ込んでくるでしょう！！

下水道などに使う、直径1メートルほどのコンクリの筒を3~4ケも埋め込み、皆で周囲を整備すれば結構良いものになる感じです。子供達にも衛生的な水が確保出来そうです。

ただ村人にはモラトワに戻って検討すると言って、完成した井戸の方に戻りました。このような場合、今まで多くの村で支援追加の要望が歓迎挨拶の中で触れてきます。中にはそっと手紙を手渡す人も結構おります。私は一切その場では返事をしない主義です。サルボダヤと優先順位や真の必要性、村人の自主的な行動、意欲をよく吟味してから何らかの返事をします。何でもOKとはもちろん言えませんし、まずは村人の自主的な“自立”への行動を求めたいからです。それがサルボダヤの精神ですし、私達も支援を続けられる原点なのです。

さて出来上がった井戸に戻り、土地を提供してくれた農夫の家の庭で簡単な清涼飲水とビスケットが出てきました。私が持

参したミネラルウォーターをコップで飲もうとした所、主人が庭に成っているレモンを絞って入れてくれました。歩き回って咽も渴いており中々の味でした。

たまたま幾ら位の収入になるのかと聞いた所、キロ当たり10ルピーというのです。野生でライムのような小粒のが13ケほどです。私達の近所のマーケットで買えば、50~60ルピー位はします。(1ルピーは約1.2円)中間の搾取は大きいなと感じました。

この農夫の年収は3万ルピー程度で、3人の子供を養っているそうです。殆どの食料は自家製でしょうがそれでも、学費の負担など大変と言葉を失いました。家がまだレンガを積んだだけ、屋根はやしの葉を葺いただけといった半分しか完成していない住居も納得できます！！子供達も4キロ離れた学校に毎日、徒歩で通っているそうです。

同行したサルボダヤ本部のスミス氏には何とかあの水溜りの整備をしようと言いながら、夜半過ぎにモラトワに戻りました。日帰りの強行軍、正味12時間も走ってぐったりですが、どのように必要な資金、1万5千を工面しようかと思いつきました。

(レモン大作戦)

何時も早く起きる私ですが、翌朝4時に目が覚めてしまいました。毎朝うるさくなく鳥の“鳴き声目覚まし”も始まる前です。昨日の宿題、資金作りをどうするか思案しているうちに、レモンの話が頭に浮かんできました。そうだと飛び起きて、メモを書き出しました。

- 1) サルボダヤの精神、シュラマダーナ(自分の出来る事を出し合って協働する)をやる。
- 2) あの村の子供や老人達にレモンを集めてもらう。出来れば100キロ!
- 3) 運搬は幸い、月例の全国地域責任者会議が月末金曜に開かれるし、多くは車でモラトワにやって来る。それを利用すれば運搬は無料(スリランカには宅急便は未だ無し)。
- 4) 販売と現金化は私とスミスがサルボダヤ本部で行う。

キロ50ルピーで売れば、5,000ルピーになり井戸改良資金の40%は出来る！！村人も自分達も資金づくりに参加した達成感と喜びを掴める！！サルボダヤの地方スタッフも運搬を担う事により、プロジェクトに参画。我々も普段日本でやっている資金づくりのパザーなどの活動をスリランカで実践出来る！！

これこそ我々の理念の実践だと、単純な事ですが、結構興奮、7時まで待って直ぐスミスさんに電話をしました！！

村で挨拶の際、毎年横浜の反町公園で行われるロータリーの井戸支援の資金づくりについて説明、日本から持参した“スリランカへ井戸を送ろう”とのパンフレットも皆に見せておきま

した。反町公園の状況を出来るだけ皆に分かってもらうよう、身振り手振りも交えて、充分話をしました。聞いていた村人も皆うなずいてよく聞いてくれました。

日本で多くの方が、大変な時間と労力を使って資金づくりを行っていることを何時もスリランカの人に伝えております。自分達がまず自助努力を行う、そして私達が足りない所を補って、一緒に子供達の将来のため、協力するという“私達の思い”を分かって貰いたいからです。ここにいる皆さんや私達の多くの仲間が日本でやっている事、そしてそこにある子供達の未来への思いを肌で感じてもらいたいからです。

結局届いたレモンは25キロばかりでした。野生のや庭先に家庭で植えてあるのからとるので、そんなに多くは集まらないのでしょうか！！ 当日、サルボダヤの事務所に働いている若いスタッフ、5人に集まってもらい、12ヶくらいを袋詰、20セットの販売を始めました。まずアリさんのお宅に行き、2袋、幹部級のオフィスを順次訪ねて、“今日はレモンの販売に来ました”と挨拶すると初めは皆怪訝な顔をしますが、意義をちょっと述べると皆OK、サルボダヤの社員食堂の責任者は即で買うから要らないといったのですが、“何故か”を話した所、3袋購入してくれ、あっという間に現金引換えで2時間で完売しました。

一人の長老のスタッフは、“私達もサルボダヤ創世記にアリさんを先頭にこのような資金集めを良くやったものです。この頃の若い連中は組織が大きくなり、資金総量も巨大になってこのような原点に触れる事が少なくなってしまいました！ 鈴木

さん良い、学びを皆に味合わせてくれて、ありがとう！！”と書いてくれました。

私達の目的は決して、“支援”する事ではありません。“自立する活動”の手助けをする事です。これからこの精神で活動を続けてまいります。



アヌラダプラ郊外にオープンした幼稚園図書室に、横浜フェリスの英訳絵本を贈呈しました。園児のほかに近所の奨学生が集まってくれました。

次回《3月2日》の卓話予定
「復活への挑戦」
～企業再生への戦略・戦術・戦闘～
杉野 正 様

例会3回

1月度出席報告

—— 出席計算除外会員 ○—— 除外会員マークアップ100% —○— 出席規定除外会員 ◎—— 除外会員ホームクラブ100%

会 員	マークアップ後	ホームクラブ	会 員	マークアップ後	ホームクラブ	会 員	マークアップ後	ホームクラブ	会 員	マークアップ後	ホームクラブ
天野 公史	133	100	伊澤 政宏	100	100	清水 勇一	—○—		脇田いすゞ	166	100
雨宮 和則	100	33	加藤 仁昭	100	100	白井 恒夫	—○—		渡邊 淳	133	100
青柳 紀	◎	—○—	川邊 正男	166	100	須永 久一	133	100	山田 正憲	133	100
朝日 達夫	100	33	小池 将夫	133	100	鈴鹿 市郎	——		山田 富雄	100	100
江森 国一	200	100	河野 明光	133	100	鈴木 武	100	0	山本 幹夫	—○—	
藤橋恒一郎	100	100	上阪 哲也	133	100	田口健太郎	133	66	山本 登	133	100
古川陽太郎	100	100	茂木 知子	133	100	高田 修	100	66	山本 芳弘	100	100
布施 是清	133	100	森永 健	133	100	田邊 正彦	—○—		山崎 善也	100	100
長谷川敬造	—○—		長井 章	133	100	田中龍太郎	133	100	矢野 修二	100	100
橋本 直生	100	33	永井 隆俊	◎	—○—	田中 栄	133	66	横溝 亘	100	66
飯田 昇	◎	—○—	中村 真巳	—○—		館野 典久	100	33	横山 範夫	133	100
飯田 泰之	100	100	西山 潔	100	66	富居 利貞	◎	—○—	吉田 隆男	100	100
今泉 文博	133	100	尾島 俊一	66	66	月山 勇	100	100	吉橋佐千男	——	
犬飼 和春	100	100	大西 弘文	100	100	角田 伯雄	100	100			
石川 正三	—○—		鴻 義久	100	66	植田 清司	100	100			
伊東 英紀	100	100	盧 康大	100	100	梅崎 興生	—○—				
岩澤 利雄	—○—		澁谷 高弘	——		我妻 隆邦	—○—				
										月平均	
										98.58%	